



菊池川流域

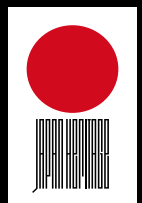
米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 13

菊池川流域「今昔『水稻』物語」

問い合わせ先
生涯学習課
社会教育係

☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

- ① 菊之城跡 ② 赤星舟着場 ③ 菊池の松囃子
- ④ 正観寺 ⑤ 菊池五山 (a 東福寺、b 西福寺、c 南福寺、d 北福寺、e 大琳寺)



赤星集落内道



松囃子



米作りによる豊かな文化①(菊池一族)

菊池一族は、平安時代から

室町時代後半までの約450

年にわたり、菊池地域を中心

として活躍した肥後の代表的

な豪族です。最も栄えたのが

南北朝時代で、15代武光(たけみつ)は後

醍醐天皇の皇子、懐良親王(なつら)を

征西將軍として迎え北朝方と

の戦いに勝利し、一時は九州

の大半を統一しました。その

背景には米による財政基盤が

あったと考えられます。菊池

地域には菊池一族ゆかりの文

化財が数多く残っており、そ

の中の5カ所を紹介します。

菊之城跡

初代則隆(のりたか)が菊池市深川(ふかがわ)に築

いた館跡です。周囲の地形を

観察すると、一段低くなった

箇所(水田)が方形に巡って

おり、元々は濠に囲まれた館

と推定できます。館跡の南側

近くには菊池川が流れており、舟運に便利な場所です。

赤星舟着場

菊池川に面した菊之城跡の

対岸には、現在、赤星集落が

あります。集落内には菊池川

に向かう細長い道が並行した

状態で6本残っています。こ

れらの道は赤星舟着場での荷

物の積み下ろし用と考えられ、

菊池川岸と交わる場所周辺が

船着き場と推定できます。

菊池の松囃子

征西將軍の懐良親王(なつら)を迎え

年頭の祝儀として行われたの

が御松囃子(ごまつばやし)御能(ごのう)の起源です。

毎年10月13日、菊池松囃子能

場で懐良親王ゆかりの棕(しぐ)の大

木に向かって能が演じられま

す。舞が古風で、謡(うた)も素朴な

要素があり、能の変遷を知る

うえで大変貴重であることから、国指定重要無形文化財に なっています。

正観寺

15代武光(たけみつ)の菩提寺(ぼだいじ)で、菊池

五山(ごさん)の中心である臨濟宗(りんざいしゅう)の寺

院(いん)です。創建時には3間×4

間の建物が建っていたと考え

られ、それに伴う礎石(せき)が残っ

ており、県指定文化財になっ

ています。礎石(せき)の周辺から布

目瓦(めがわ)が出土しており、平安時

代の創建と想定できます。

菊池五山

菊池一族が京都や鎌倉の

五山(ごさん)にならい定めたもので

す。菊池市内に東福寺(とうふくじ)、西福

寺(さいふくじ)、南福寺(なんふくじ)、北福寺(ほくふくじ)、大琳寺(だいりんじ)

の5つの寺院が配置されまし

た。これらは菊池の文教が盛

んになる基礎を築きました。

(担当: 菊池市生涯学習課)

飲食店・宿泊施設など募集

お米を使った自慢のメニューをPRしませんか?

菊池川流域産のおいしいお米を取り扱う飲食店・宿泊施設などを募集します。応募いただいた店舗・施設は日本遺産ホームページやグルメ冊子に施設情報を掲載するほか、PR用ポスターやステッカー、のぼり旗を配付します。

対象 菊池川流域(玉名市・山鹿市・菊池市・和水町)産のお米を使用したメニュー・加工品を提供する店舗・施設

募集期限 9月28日(金)

※詳細は日本遺産ホームページや農政課ブランド推進室(☎25)7266)へお問い合わせください。

